


ジョニー・デップ監督作品

modi

1916年のパリ。追いつめられ、仲間に支えられ、愛に惑う。
芸術家モディリアーニの狂気と情熱が街を駆け抜ける――

配給：ロングライド、ノッカ 協賛：LANDNEXT、セレモニー longride.jp/lineup/modi



30年ぶりに監督に復帰したジョニー・デップ。 彼が描いたのは、芸術家モディリアーニの情熱的な3日間。

長年の友である俳優アル・パチーノから声をかけられ、『ブレイブ』（1997）以来30年ぶりに本作で監督復帰を果たしたジョニー・デップ。日本でも人気の芸術家モディリアーニの特別な3日間を情熱的に描き、昨年、サン・セバスティアン映画祭でプレミア上映された。

1916年、戦火のパリ。才能に溢れながらも批評家に認められず作品も売れなかった、酒と混乱の日々を送る芸術家モディリアーニ。キャリアを捨て、この街を去ろうとしたその時、仲間とミューズの存在が彼を引き止める。人生を変える運命とも言うべき“狂気と情熱の3日間”が始まる。その先に待つのは、破滅か、それとも再生か——。画家や彫刻家としてフランス・パリで活動していたが、不摂生な生活による貧困、肺結核、薬物依存などにより若干35歳で亡くなったイタリア人芸術家アメデオ・モディリアーニの濃厚な人生の日々を描いた本作。芸術と破滅、愛と再生が交錯する、魂のドラマがスクリーンに甦る。

主人公モディリアーニを演じるのは、『ジョン・ウィック:チャプター2』（17）や『名探偵ポアロ:ベネチアの亡霊』（23）のリッカルド・スカマルチョ。共演には、『ゴッドファーザー』シリーズのアル・パチーノ、『オペレーション・フィナーレ』（18）のアントニア・デスプラ、『ヴェノム:レット・ゼア・ビー・カーネイジ』（21）のスティーヴン・グレアムらが名を連ねている。



誰であれ、どこにしようと、この物語の中で自分なりに向き合い、
共鳴できる何かを見つけてほしい。

ジョニー・デップ



2026.01.16 fri ROAD SHOW

配給：ロングライド、ノッカ 協賛：LANDNEXT、セレモニー longride.jp/lineup/modi

©Modi Productions Limited 2024